

# 2019年12月8日投開票 小金井市長選挙

## 市民自治こがねいの公開質問状に対する立候補予定者からの回答

市民自治こがねいは、11月1日の時点で小金井市長選への立候補を記者会見で表明された方、あるいは新聞報道された方に公開質問状を送付いたしました。

現職の西岡真一郎さん、自民党市議だった新人の河野律子さん、共産党市議だった新人の森戸洋子さんです。

3人全ての方から回答をいただきましたので、左から到着順に掲載いたします。当会のHPでもご覧いただけます。

なお、この公開質問状は同封の当会発行「散歩だより」102号と対応しています。合わせてご覧いただきたいと思います。

### I 緑の保全、環境配慮のまちづくり

#### ① 関連政策を2つあげ、その理由をそれぞれ述べてください。

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
政策1、屋上緑化と壁面緑化の推進 今後、生産緑地の一定の減少が見込まれる中、貴重な緑を保全するために、屋上緑化や壁面緑化を推奨し、緑被率を確保することで、水と緑を小金井市民の共有財産として確立します。	緑地や農地の保全、拡充で、自然環境を守り、災害時に備えます。農福連携で市民の社会参加意識を高めます。環境都市宣言を行います。 理由：緑地とともに農地の保全、拡充し、農福連携を広げること、市民参加で環境保全に取り組むことができる。環境都市宣言を行うことで、市の姿勢を示す。	小金井市には国分寺崖線に沿った野川を中心とした、豊かな自然があります。防災が今日の課題でもあり、野川の調整池管理保全も重要な課題です。同時に調整池を活用した「こども広場」の設置も魅力的なテーマと考えています。
政策2、CO2削減の施策推進 二酸化炭素排出量の削減に取り組む施策として、市が管理する街路灯約8千灯をLED照明に切り替えました。また、太陽光発電機器の導入促進のための補助制度を拡充する等、地球温暖化対策推進計画を進めます。	武蔵野公園以外の国分寺崖線区域の民有地は、市が計画的・長期的に取得し、緑を増やします。そのため基金を創設します。 理由：国分寺崖線の緑地を守り、増やしていくことで、自然環境を保持するとともに、はけの保水力を高め、野川の水量も保ち、自然災害に強い都市になれる。	環境問題は子供の頃から触れておくことが重要です。このため小学校にはビオトープを設けるなど、環境学習の充実に努めてまいります。

#### ② 都市計画道路「3・4・11号線」「3・4・1号線」について

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
事業化すべきでない。 理由：都市計画道路3・4・11号線は市民の理解等が十分とは言えない状況であるため、現時点では事業化に賛同しかねます。都市計画道路3・4・1号線は小金井市都市計画マスタープランを尊重し、見直しを求めます。	事業化すべきでない。 理由：小金井の貴重な自然を次の世代に残し、市民の住環境を守るために両路線とも事業化には絶対反対である。	どちらでもない。 理由：都市型災害の発生時には交通機関がダウンします。この時都心に残された市民は徒歩で帰宅することになります。多摩では青梅街道、甲州街道がありますが中央線に沿った道路はありません。計画中の道路が最適か否かは別にして中央線に並行する広域的避難道路は必要と考えます。

#### ③ 気候危機（地球温暖化）についての主な対策を列記ください。

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
一般家庭から排出される温室効果ガスの削減を進めるため、既存補助制度の更なる周知や充実を図ります。	地球温暖化を防止するため、原発に頼らないエネルギーの確保策を推進します。公共施設においては自然再生エネルギーを活用し緑化を推進します。廃棄物の3Rを推進します。市民発電所と連携し応援します。	温室効果ガスの排出抑制。
新庁舎・（仮称）新福祉会館建設や清掃関連施設再整備など、今後計画されている新たな公共施設における省エネ化・再エネ化に積極的に取り組みます。		再生可能エネルギーの普及。
公共施設の6割を占める学校教育系施設における地球温暖化への取り組みは効果も期待できるとともに、次世代への教育にもつながることから、校舎のLED化や遮熱フィルムの活用等による省エネ対策を積極的に推進します。		
公立小中学校における環境教育推進校を設置するとともに、児童生徒による省エネアイデアコンクールを実施します。		

#### ④ 公共施設の供給電力の再生エネルギー100%を何年までに実現しますか。

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
わからない（電力の安定供給と電気料金の増が課題であり、公共施設への再生可能エネルギー導入は重要であると認識しています）。	2030年まで	公共施設に限定し、再生エネルギー100%をいつまでに実現するかという設問であり、回答自体に科学的根拠が乏しい。あえて言えば「可能な限り早急に」となります。

#### ⑤ 緑の保全基金

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
わからない。（緑の保全を目的とした「みどり公園基金」が既にあり、有効に活用していきます。）	検討する。	わからない。

## II 歩いて暮らせるまちづくり

### ① 関連政策を2つあげ、その理由をそれぞれ述べてください。

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
政策1、公共交通機関の再整備 ココバスの運行開始から15年。市内の交通状況及び市民ニーズの変化、今後の新庁舎建設計画等を踏まえ、平成30年度より令和3年度までの4年間で「ココバス再編事業」として総合的な見直しを実施します。	市道の無電柱化を計画的にすすめ、道路と歩道の段差解消やバリアフリーを進め、商店街に「寄合所」を設けます。	具体的に、なにについての質問か不明なため回答を控えます。
政策2、既存道路の整備及び無電柱化の推進 小金井街道や連雀通り、緑中央通り等の都市計画道路事業において、歩車分離を図るとともに、歩道のバリアフリー化を実施しています。また、無電柱化や街路樹の植栽を行い、安全で快適な歩行空間の整備を行います。	武蔵小金井駅北口は個店を大切にし、にぎわいを取り戻す方策を関係者や市民と構築します。駅の地下や駅近くに駐輪場の設置を検討し、通勤、通学に便利でホッとするとする緑豊かなまちにします。 理由：武蔵小金井駅北口の個店が生き生きと営業できることが必要です。南口との差別化を図っていく。	

### ② 「地域まちセンター」（仮称）

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
検討する。	検討する。	同センターの機能・必要性、既存の公民館・集会施設等との役割分担が不明なため回答を差し控えます。なお市民が自主的に創ることを否定するものではありません。

## III 多様性・多文化が尊重される共生社会

### ① 関連政策を2つあげ、その理由をそれぞれ述べてください。

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
政策1、男女共同参画の推進 第5次男女共同参画行動計画で「人権尊重と多様性を認め合う社会をつくる」と基本目標を示し『かたらい』47号・50号と多摩3市男女共同参画共同研究会啓発冊子に記事を掲載し、周知及び理解促進を図っています。	一人ひとりの人権を大切にし、男女共同参画を推進し、多様な性が大切にされるまちをめざします。そのため、小金井市人権を大切に定める条例を制定します。 理由：女性も男性も多様な性の人も外国籍の人も、すべての人の人権に目を向け、保障することが必要である。	異文化を尊重し理解を深めることは、相互の信頼と協調を深める観点から重要です。このため国際交流事業の拡大を目指します。
政策2、多様性の尊重 小金井市人権研修でLGBT研修（H30年度・令和元年度）を実施しました。また、市民が性別などにかかわらず安心して生活できるよう同性パートナーシップ制度の制定に向けた取組を進めます。	多文化共生社会の実現に向け、生涯学習等で他の国々の歴史や文化、語学を学ぶ機会を増やし、市民が国際的な理解を深めるようにします。外国籍の皆さんへのアンケート調査などを行い、ニーズを把握し、施策に反映します。 理由：韓国や中国などに対し、蔑んだり侮蔑する風潮が一部にあります。過去の歴史を繰り返さないためにも理解しあうことが必要だと考えます。	障害者雇用促進法を徹底させ、雇用率達成のための支援を検討します。

## IV 公共サービスのあり方 市民参加 市民協働

### ① 関連政策を2つあげ、その理由をそれぞれ述べてください。

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
政策1、NPO法人への市職員派遣研修の継続 市職員がNPO等の活動を体験することにより、NPO等が地域課題等を解決する公益的活動を理解し、活性化を図る方策を考える機会とし、市職員の協働意識の向上を図り、NPO等との人的ネットワークを拡大します。	自治基本条例の制定により市民の声を市政に反映します。 理由：市民参加条例をさらに発展させ、市の施策を進めるにあたり、市民参画を規定する。	サービスには提供する側と享受する側が存在します。公共が提供するサービスも同じです。市民が責任とリスクを担うに相応しいサービスとは何か検討します。
政策2、協働事業提案制度の継続 市民活動団体等の発想や専門性をいかし、公共サービスに対する多様なニーズへのきめ細やかな対応を実現するため、市民活動団体等からの提案により市と市民活動団体等が協働して行う事業を展開していきます。	市民との定例的な懇談をすすめます。市内団体、グループなどとの懇談を年1回すすめます。 理由：現場の率直な声や思いを市政に反映させるため、様々な活動をしている市民団体やグループとの懇談が必要と考える。	

### ② 公契約条例の制定

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
考えていない。	制定する。	制定しない。
現時点では考えていませんが、条例の掲げる理念や目的は理解しており、小金井市の現行制度の運用において、懸念される事態が発生しないよう最大限に努めます。		公契約とは、より質の高いサービスを・より安い金額で提供させることが基本であり、労働基準法や男女機会均等法諸法の順守は当然です。そこに評価項目を持ち込むことは馴染まないと考えます。

## V 「SDGs」を市の計画、施策に取り入れますか？

西岡真一郎	森戸洋子	河野律子
積極的に取り入れる。 理由：持続可能性は小金井市の将来のための重要な目標であり、市政の方向性を検討する上でSDGsの視点を踏まえることは大切です。SDGsの目標の真意や必要性を職員が理解し、市政の取組を進める必要があるからです。	積極的に取り入れる。 理由：持続可能な社会を作る上で、国連で採択され、保守系議員とも共通認識を持てるものなので、ジェンダー、環境、貧困問題などを市の施策に取り入れやすい。	参考にします。 理由：国、都道府県、産業界等の導入状況やその成果等を踏まえながら、地方公共団体においても積極的に参考にすべきと考えます。